

## 市営地下鉄民営化基本方針

# 市民の財産を売り払い 無駄な大型開発へ投入

大阪市議会 山中智子幹事長が反対討論

13日の大阪市議会本会議で、日本共産党の山中智子幹事長が地下鉄民営化基本方針案に反対の討論を行いました。



山中智子幹事長

心、快適で利便性の高いの「一事以外にない」と強地下鉄として、一層の発展が求められているとき

「はい」と山中氏。御堂筋線はじめ全駅の可動式ホーム柵設置、南海トラフ巨大地震の震災対策、今里筋線の延伸などバス

地下鉄売ってでも大開発進める

## 歴史誇る事業廃止するもの

山中氏は、地下鉄民営化基本方針案は、80年以上の歴史を誇る大阪市営地下鉄事業を廃止し、2018年4月をめどに大阪市100%出資の株式会社化をはかるものだが、「市民にとってプラスになるどころか、マイナスでしかない」として、問題点を具体的に指摘しました。

「いまほど安全で安くなる上、交通局の企業債4900億円を一括償還するため、その肩代わりを市中銀行に依頼してまでの民営化は、」

## 株式会社化の本当の狙いは

山中氏は、株式会社化で交通局職員に1006億円の退職金を支払うなどして、手元資金がほぼなくなる上、交通局の

民営化した後、株式を上場して売却する、ただそ

「吉村市長は自分の任期中には株式を売却しないと表明されているが、それを保証できるのは残り3年間にすぎない」と断りました。

## 上場を目指し突き進む計画

374億円もの利益を上げているのに

山中氏は、大阪市営地下鉄は1933年の開業以来、都市計画の一環として「市民の足」の利便を図ることを目的に、市民の税金と乗客の料金で営々と築かれてきたと主

可動柵の設置を行わない試算で

山中氏は、基本方針案は民営化する以上、株式

「上場を目指す以上、株式を突き進む計画になっている。民営化後10年間の収支シミュレ

張。2015年度決算で374億円の経常利益を上げ、現金・預金1003億円、基金277億円の退職金を支払うなどして、手元資金がほぼなくなる上、交通局の

最後は山中氏は、「民間化、株式会社化とは、市民の貴重な財産である大型開発へ投入する道に突き進むこと。このよう

「市民の貴重な財産である大型開発へ投入する道に突き進むこと。このよう